

安全に安心して使用できる公共建築物を提供することが、育ったまちへの貢献

建築課 小宮匠（建築技術 平成22年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

小田原市役所へ入庁する以前は民間企業で4年間働き、主に戸建住宅の設計を担当していました。昔からものづくりが好きで、打ち合わせをしながら、ひとつの住まいを建てていくことは、大変うれしいことでした。

しかし、もっと大勢の人の役に立ちたい、地域に根付いた仕事がしたい、建築全般に関わる仕事がしたいと考えるようになりました。

また、小田原は自然や文化に恵まれたまちであるとともに、私の育ったまちでもあります。この環境を後世まで繋げていけるように、私は小田原市役所を志望しました。



現在の仕事内容

建設部建築課では、大きく分け3つの担当に分かれています。住宅担当、設備担当、そして私が所属する建築担当です。それぞれの担当はまったく違う業務内容ですが、協力し合い業務を行っています。

建築担当は、市有建築物の新築・増築・改修等、幅広い工事種別のなかで設計・積算・監督と建築に関わる全般的なことを行っています。

入庁した当初は、何も分からぬ状態でしたが、上司や先輩職員の方々にご指導いただき、仕事の勝手も覚え、今ではすっかり馴染んでいます。

仕事のやりがい

所管課や工事業者との意見交換をし、より良い建物・工事が出来るように勤めています。なによりも市民の方が不自由なく生活できるように、公共建築物も機能やデザインだけでなく安全にも配慮することを目指し、現地に行った際には、目を凝らし点検に勤めています。

今後も安全に安心して使用できる公共建築物を提供することが育ったまちへの貢献もあり、今の私のやりがいになっています。

受験生の皆さんへのメッセージ

私の場合は転職という形での入庁なので、自分のやりたいことを再確認するための良い機会になったと思います。ただ、今の仕事が嫌だからなどマイナス思考で転職は考えない方が良いとは思います。ステップアップ、挑戦する、学び直すといったプラス思考で採用試験に臨むことが大切だと思います。

また、面接時は、自分の意見に自信を持ってぶれない発言をした方が良いと思います。頑張ってください。

上司から一言

自分たちが、計画・設計・管理をした建築物が、市民の皆様に利用していただけることは、大変うれしいことですが、昨今の厳しい財政状況や経済状況、社会環境の変化の中、建物の用途に応じた的確かつ効率的な維持管理業務の遂行は、非常に重要なことだと考えます。



市有建築物の状況は、老朽化、耐震化、長寿命化などが課題となっており、今後は、施設の有効的な活用手段として、ファシリティマネジメントの導入などの研究が必要あります。

市民の財産である市有建築物の適切な管理運営を、一緒に頑張ろうと思われる若人諸君、是非、チャレンジしてください。また、建築設備職（電気・設備職）の方もお待ちしています。